

口は健康のもと Vol.119

主訴の陰にある思い ～気になることは何でも相談～

歯科の診察を希望される方には「歯の痛み」や「義歯の不調」を訴えながら種々の背景を持つ患者さんが少なくありません。

尺八の先生をされている方が上の総入れ歯が合わなくて受診されました。入れ歯の修理と調整をしたところ、食べられるようになったと喜ばれました。しかし、何か晴れ晴れとした表情ではありませんでした。伺ってみると、入れ歯を入れて尺八を吹くと、上の入れ歯が落ちてしまい、良い音色が出ず、あまり吹かなくなってしまったとのことでした。さっそく次の来院時に尺八を持参してもらい、尺八を吹いても落ちないように入れ歯に工夫をして修理しました。ある日、入れ歯の調整が整い、「いい音が出るようになった」と大変喜んで、一曲披露してくださいました。笑顔がとても輝いていました。

口や歯の役割は美味しく食べること、歌うこと、話しをすること、これらの一つが欠けても人生に満足できません。歯が揃っていた時のようにはいきませんが、歯科治療で以前のような活気を取り戻しましょう。

気になることは歯科医師にご相談ください。



奥羽大学歯学部附属病院

総合歯科 講師 門倉 弘志

